

様式第1の2（第1条の6関係）

危険物 仮貯蔵 承認申請書  
仮取扱い

長岡市消防長 殿		令和〇〇年 〇〇月 〇〇日	
		申請者 住所 <u>〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号</u> （電話 <u>00-0000</u> ） 氏名 <u>株式会社 〇〇〇〇 代表取締役 〇〇 〇〇</u>	
危険物の所有者、管理者又は占有者	住所	●●市●●町●●丁目●●番●●号 電話 1111（ 11 ） 1111	
	氏名	株式会社 ●●●● 代表取締役 ●● ●●	
仮貯蔵・仮取扱いの場所	所在地・名称	△△市△△町△丁目△番地	
危険物の類、品名及び最大数量	第〇類第〇類石油類、〇油〇〇ℓ	指定数量の倍数	〇〇倍
仮貯蔵・仮取扱いの方法	〇〇に貯蔵し、〇〇で消費する。		
仮貯蔵・仮取扱いの期間	〇〇年〇〇月〇〇日から 〇〇年〇〇月〇〇日まで 〇日間		
管理の状況 (消火設備の設置状況を含む)	仮貯蔵、仮取扱いする場所の位置及び構造等は別添の図面のとおりで、部外者が立ち入らないように柵等を設けます。 (消火器はABC10型〇〇本設置します。)		
現場管理責任者	住所	▲▲市▲▲町▲▲丁目▲▲番▲▲号 緊急連絡先 2222（ 22 ） 2222	
	氏名	▲▲部▲▲課 ▲▲ ▲▲ 【危険物取扱者免状： <input checked="" type="checkbox"/> 有（種類： 乙種第4類 ）・無】	
仮貯蔵・仮取扱いの理由及び期間経過後の処理	〇〇を××するために仮貯蔵、仮取扱いをし、終了後は現状復旧します。		
その他必要事項			
※ 受付欄	※ 経過欄	※ 手数料欄	
	承認年月日 承認番号		

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。  
2 法人にあっては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。  
3 案内図、配置図、平面図、構造図その他関係書類を添付すること。  
4 ※印の欄は、記入しないこと。

[危険物（仮貯蔵・仮取扱い）承認申請書記入要領]

- 1 表題については、仮貯蔵、仮取扱いのいずれか一方しか申請しない場合は、申請しない方を二重線で抹消すること。
- 2 「申請日」は、申請書提出日を記入すること。
- 3 「申請者」は、原則として承認を受けようとする者の住所、氏名を記入すること。  
申請者が法人の場合は、備考2に留意すること。
- 4 「危険物の所有者、管理者又は占有者」は仮貯蔵、仮取扱いをする危険物の所有者、管理者又は占有者について記入すること。
- 5 「仮貯蔵・仮取扱いの場所」欄は、仮貯蔵、仮取扱いをする場所（土地の所在地）を記入すること。
- 6 「類別・品名・最大数量」欄は、法別表に定める類、品名について、仮貯蔵・仮取扱いをする最大数量を記入すること。  
欄内に記入できない場合は、別紙に記入し、添付すること。
- 7 「指定数量の倍数」欄は、「類別・品名・最大数量」欄に記入した危険物を指定数量で除した数を記入すること。
- 8 「仮貯蔵、仮取扱いの方法等の概要」欄は、どのような貯蔵、取扱い方法をするのかを記入すること。
- 9 「期間」欄は、仮貯蔵、仮取扱いをしようとする期間を記入するが、その期間は10日以内であること。
- 10 「管理の状況」欄は、設置する消火設備や巡視状況を記入すること。
- 11 「現場管理責任者」欄は、緊急時の連絡先を記入すること。
- 12 「仮貯蔵・仮取扱いをする理由及び期間経過後の処理」欄は、理由と期間経過後の処理を簡記すること。
- 13 添付書類は、案内図、配置図、平面図（標識、掲示板及び消火設備等の設置位置を図示したもの。）、配管図、使用する機械器具等のカタログとし、危険物の貯蔵、取扱い方法が容易に分かるものとする。